

江戸時代の京都を代表する歌人・小沢蘆庵<sup>ろあん</sup>ゆかりの名品約100点を75年ぶりに一般公開  
 上田秋成、本居宣長らとの交流がわかる資料を展示  
**蘆庵没後225年記念展示「こころをことばに 和歌の達人、小沢蘆庵とその時代」開催**  
**2026年4月17日(金)～19日(日)10:00～16:00/新日吉神宮<sup>いまひえじんぐう</sup> 社務所(東山区) 入場無料**  
**「第二回 蘆庵文庫セミナー」**  
**4月19日(日)13:30～16:00/京都女子大学 東山キャンパス※受講者募集 定員100名(先着・受講無料)**

京都女子大学(所在:京都市東山区/学長:竹安栄子)は、江戸時代の京都を代表する歌人・小沢蘆庵ゆかりの資料を公開する「没後225年記念展示 こころをことばに—和歌の達人、小沢蘆庵とその時代」を、2026年4月17日(金)～19日(土)まで開催します。

また、蘆庵研究の成果を公開する「第二回 蘆庵文庫セミナー」を、4月19日(日)13:30より、東山キャンパスにて開催します。本セミナーの受講者100名(先着)を、4月10日(金)まで募集します。

#### ■京都女子大学が所蔵する江戸時代中期の和歌の達人・小沢蘆庵の資料「蘆庵文庫」。

江戸時代中期の歌人・小沢蘆庵(1723〔享保8〕年～1801〔享和元〕年)は、慈延、澄月、伴蒿蹊とともに「平安和歌四天王」と称されました。妙法院宮真仁法親王(しんにんほっしんのう)や本居宣長、上田秋成らとの交遊でも知られ、それまでの雅な和歌とは異なり日常の身近なことも含めて心に思うことを素直に言葉にした「ただごと歌」を広めた歌人です。

新日吉神宮神宮で蘆庵の門人であった藤島宗順(ふじしまむねのぶ)のもとに、蘆庵が持ち込んだ典籍を中心に、蘆庵をはじめ京都の文化人らと交わした書簡、蘆庵による添削が記された「詠草」(和歌の草案)などが伝わる「蘆庵文庫」(約1600点)は、2015年に新日吉神宮・藤島家より京都女子大学に寄贈されました。そして、このたび、国文学研究資料館の共同研究「京都女子大学蘆庵文庫の研究」が行われています。

#### ■「蘆庵文庫」の貴重資料群を75年ぶりに一般公開。



小沢蘆庵自撰歌集『六帖詠藻』

蘆庵の研究は、藤島宗順の末裔・藤島益雄氏と同じく蘆庵の門人だった中野熊充の末裔・中野稽雪氏が出会い、昭和25年没後150年の節目に「蘆庵文庫」を設立。同年、蘆庵の和歌史における功績を継承するため、蘆庵遺墨展を開催しました。今回の展示会はそれぞれのご子孫にご協力いただき、75年ぶりにその再現を試みました。

弟子が蘆庵の詠んだほぼ全ての歌を弟子が書き写し、それを蘆庵自身が確認・加筆して完成させた自撰歌集『六帖詠藻』、上田秋成の書、円山応挙ら芸文家を保護した真仁法親王の書、蘆庵が使用したとされる書簡や150年記念展示の資料など、約100点を公開します。

#### ■4月19日(日)第二回 蘆庵文庫セミナー開催。近世和歌と蘆庵の歌を「蘆庵文庫」から紐解く。

今回の展示に合わせ、「蘆庵文庫」から近世和歌史や蘆庵の和歌を学ぶセミナーを開催します。導入では「京都女子大学蘆庵文庫の研究」の代表である、国文学科 大谷俊太教授から蘆庵文庫の成り立ちと蘆庵の歌風についてお話しします。同志社大学 大山和哉准教授は蘆庵と弟子の歌を実際に解説しながら、蘆庵の添削指導について解説。広島大学 久保田啓一名誉教授は、近世の新しい和歌を詠んだ蘆庵が冷泉派歌壇からどう見られていたのかを解説します。

##### 【報道関係のお問い合わせ先】

京都女子大学広報デスク(プランニング・ポート内) 福嶋・井上 Tel: 06-4391-7156

京都女子大学 入試広報課 岡橋・竹縄 Tel: 075-531-7054

京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>

##### 【一般の方からのお問い合わせ先】

京都女子大学 入試広報課 Tel: 075-531-7054 E-mail: nyuushi@kyoto-wu.ac.jp

※展示会およびセミナーを取材いただける方は、取材日前の平日17時まで上記広報デスクまでご一報願います。※展示会場での大谷教授のご取材は、17日(金)10:00～16:00、19日(日)10:00～12:00とさせていただきます。別日での取材は個別にお問い合わせください。

## 蘆庵没後 225 年記念展示「こころをことばに 和歌の達人、小沢蘆庵とその時代」開催概要

- 期 間 2026年4月17日（金）～19日（日）10:00～16:00
- 会 場 新日吉神宮 社務所（京都市東山区妙法院前側町451-1）
  - ・ J R ・近鉄「京都」駅から、市バス206系統・208系統で約10分、「東山七条」下車、東へ徒歩約9分。
  - ・ 京都駅八条口から、プリンセスラインバスで約10分、「京都女子大学前」下車、女坂を西へ下り徒歩2分。
  - ・ 京阪「七条」駅から、プリンセスラインバスで約5分、「京都女子大学前」下車、女坂を西へ下り徒歩2分。
- 入 館 料 入場無料
- 共 催 国文学研究資料館、京都女子大学、和歌文学会
- 展示概要 小沢蘆庵自撰家集『六帖詠藻』、蘆庵自筆 太秦十輪院にての詠、光格天皇漢詩幅、真仁法親王筆 新日吉社歌合 蘆庵・上田秋成・橋本経亮他 自筆短冊など87種約100点

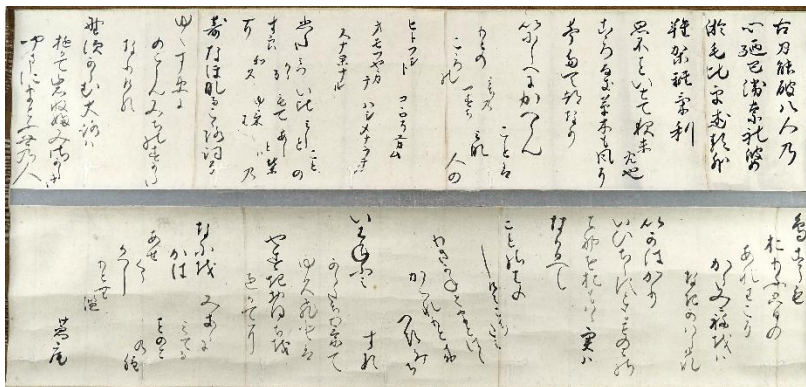


昭和 25 年の遺墨展の様子



像肖翁庵蘆澤小

小沢蘆庵肖像画写



小沢蘆庵十二首和歌幅



書篋

### 蘆庵文庫について

「蘆庵文庫」には狭義と広義の二つの意味があります。

狭義としては、新日吉社社職の藤島家に伝襲されてきた小沢蘆庵に関連する資料群を指します。

広義としては、昭和25年（1950）に小沢蘆庵百五十回忌に際して設立された小沢蘆庵顕彰団体の名称を指します。蘆庵の有力な門人の一人で当時の新日吉社社主、藤島宗順のもとに蘆庵監督書写本の『六帖詠藻』など蘆庵が関与する資料が預けられ、藤島家代々の人々により守り継がれてきました。その六代の後裔が藤島益雄氏です。一方、同じく蘆庵の門人の一人に、近江日野の商家で京都に店を構える亀屋五郎兵衛中野熊充がおり、その五代の末裔が中野稽雪氏です。藤島益雄・中野稽雪両氏は共に自家襲蔵の典籍・文書に心惹かれ解読を進め、蘆庵研究を目指しました。その二人が出会い、没後150年という記念すべき年に蘆庵顕彰のための「蘆庵文庫」が設立されました。そこで、蘆庵の名を広く江湖に示すために行われたのが、講演会であり蘆庵遺墨展の開催でした。本展示はその再現を試みることで、先達の驥尾きびに附し、蘆庵に学び、蘆庵を承継がんとするものです。

## 第二回「蘆庵文庫セミナー」開催概要

- 日時 2026年4月19日（日）13:30～16:00（開場13:00）
- 会場 京都女子大学東山キャンパス E校舎地下1階 E103講義室  
（京都市東山区今熊野北日吉町35）
- ・JR・近鉄「京都」駅から、市バス206系統・208系統で約10分、「東山七条」下車、東へ徒歩約5分。
  - ・京都駅八条口から、プリンセスラインバスで約10分、「京都女子大学前」で下車。
  - ・京阪「七条」駅から、プリンセスラインバスで約5分、「京都女子大学前」で下車。
- 受講料 無料
- 主催 国文学研究資料館
- 共催 京都女子大学
- スケジュール
- |               |    |   |
|---------------|----|---|
| 13:30         | 挨拶 | 国文学研究資料館 館長 渡部泰明  |
|               |    | ※司会：石谷佳穂（名古屋商科大学専任講師）   |
| 13:45 ～ 14:30 |    | 「蘆庵文庫の成り立ち—こころをことばに—」<br>講師：大谷俊太（京都女子大学文学部国文学科※ 教授）   |
|               |    | ※2026年4月より日本語日本文学科に名称変更   |
|               |    | ・蘆庵の門人の藤島宗順と中野熊充の子孫の藤島益雄と中野稽雪による蘆庵研究と、2人が蘆庵没後150年に設立した「蘆庵文庫」の成り立ちについて資料を元に解説。蘆庵の和歌に対する考え方、歌風、など小沢蘆庵について紹介します。 |
| 14:30 ～ 15:15 |    | 「蘆庵の詠み方・教え方」<br>講師：大山和哉（同志社大学文学部国文学科 准教授）   |
|               |    | ・蘆庵と門人の和歌を具体的に取り上げて、蘆庵がどんな添削指導をしていたのかを解説します。和歌を教えるとはどういうことなのかをお話しします。   |
| 15:15 ～ 16:00 |    | 「冷泉派歌壇側から見る小沢蘆庵像」<br>講師：久保田啓一（広島大学名誉教授）   |
|               |    | ・蘆庵は、当時、公家の和歌第一人者であった冷泉為村に破門されたと伝えられています。冷泉為村およびその一門が、新風の和歌を詠む蘆庵をどう見ていたか、蘆庵の和歌が和歌史の中でどう位置付けられているかについてお話しします。  |
| 16:00         |    | 閉会  |

### 《募集要項》

- 定員 100名（※先着順）
- 応募方法 上記いずれかの方法でお申し込みください。
- ①Eメール [bunko.seminar@nijl.ac.jp](mailto:bunko.seminar@nijl.ac.jp)
- ②ウェブフォーム <https://x.gd/FTTRs>
- Eメールの場合、タイトルを「蘆庵文庫セミナー申込」とし、本文に氏名、氏名のヨミ、メールアドレス、電話番号を記入し送信ください。後日Eメールにて受講票を送付いたします。ご記入いただいた個人情報は当行事運営のために使用します。
- 応募締め切り 2026年4月10日（金）17:00

【返信先】FAX:06-4393-8216 もしくは、fukushima@planning-boat.com

京都女子大学 広報デスク（プランニング・ボート内） 福嶋・井上 宛

江戸時代の京都を代表する歌人・小沢蘆庵<sup>ろあん</sup>ゆかりの名品約100点を75年ぶりに一般公開  
上田秋成、本居宣長らとの交流がわかる資料を展示  
蘆庵没後225年記念展示「こころをことばに 和歌の達人、小沢蘆庵とその時代」開催  
2026年4月17日(金)～19日(日)10:00～16:00/新日吉神宮<sup>いまひえじんぐう</sup> 社務所(東山区) 入場無料  
「第二回 蘆庵文庫セミナー」  
4月19日(日)13:30～16:00/京都女子大学 東山キャンパス※受講者募集 定員100名(先着・受講無料)

ご取材

記念展示 4月 \_\_\_\_ 日 \_\_\_\_ 時頃～

セミナー 4月 19日 \_\_\_\_ 時頃～

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	他 _____ 名様	
	(ムービー) _____ 台 / (スチール) _____ 台	
連絡先	TEL	FAX
	E-Mail	
当日のご連絡先	TEL	

《備考欄》 ご取材につきご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。

※展示会およびセミナーを取材いただける方は、取材日前の平日 17 時まで上記広報デスクまでご一報願います。

※展示会場での大谷教授のご取材は、17 日（金）10:00～16:00、19 日（日）10:00～12:00 とさせていただきます。

別日でのご取材は個別にお問い合わせください。